

食道胃接合部癌に対する外科手術の治療戦略と妥当性

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	食道胃接合部癌に対する外科手術の治療戦略と妥当性
倫理審査受付番号	第 3435号
研究期間	2020年 2月倫理審査承認日～2023年 3月31日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に上部消化管外科を受診された食道胃接合部癌の方 2018年 1月 1日～2021年12月31日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報
研究概要	(研究目的、意義) 目的：食道胃接合部癌に対する外科治療はいまだコンセンサスが得られていません。近年、食道浸潤長に応じた至適リンパ節郭清範囲に関する報告がようやくなされましたが、術後機能障害も考慮した再建術式が求められるため、各施設様々な術式選択が行われている現状です。そこで、当科で採用している術式を報告し、その治療戦略および安全性を明らかにします。

意義：今回の結果により、当科で提唱している食道胃接合部癌の外科治療戦略・手術手技が、標準的な治療戦略になる可能性があります。

（研究の方法）

2018年1月1日から2021年12月31日までに、当科で手術を行った症例のうち、食道胃接合部癌手術を施行した症例に関して、手術手技、手術データ、術後合併症などに関して、カルテ情報を取得し、その妥当性を証明します。

（個人情報の取り扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。また、指針改定に伴い「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 上部消化管外科
篠原 尚（研究責任者）
隈本 力（研究担当者）

TEL | （平日 9：00～17：00）0798-45-6725(上部消化管外科 医局直通)